

# SightFusion for Desktop Ver.1.2.0 アップデート機能概要

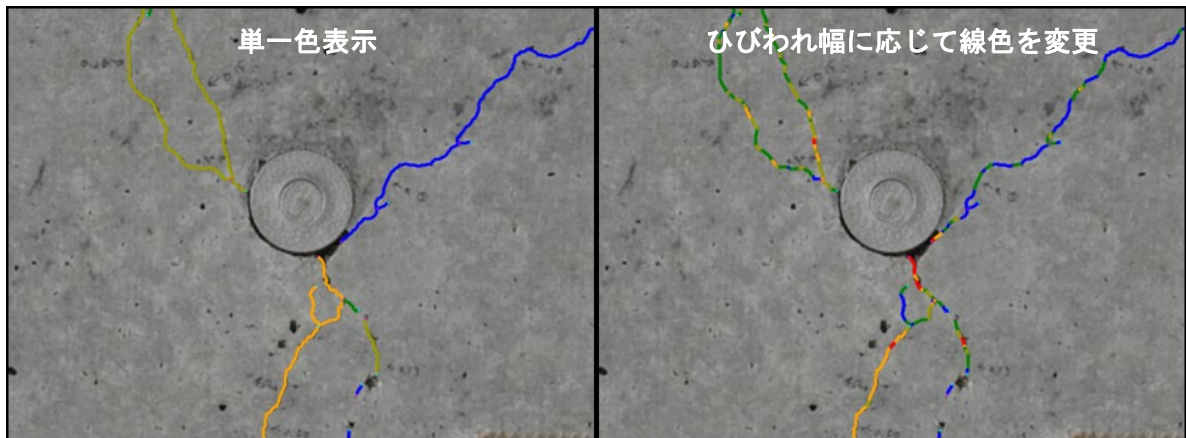
2025年1月  
株式会社 ニコン・トリンプル

いつも弊社製品をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。  
本書では、SightFusion for Desktop Ver.1.2.0 で追加、変更された機能の概要を説明します。

## ■ ひびわれ幅の変化に応じてトレース線色を変えて表示できるようにしました

- ◆ 国交省公報資料に基づき、1本のひびわれの中でひびわれ幅が変化する場合に、幅に応じて線色を変えて表示できるようにしました。

表示方法は、単一色表示か幅に応じて線色を変更するか選択が可能です。

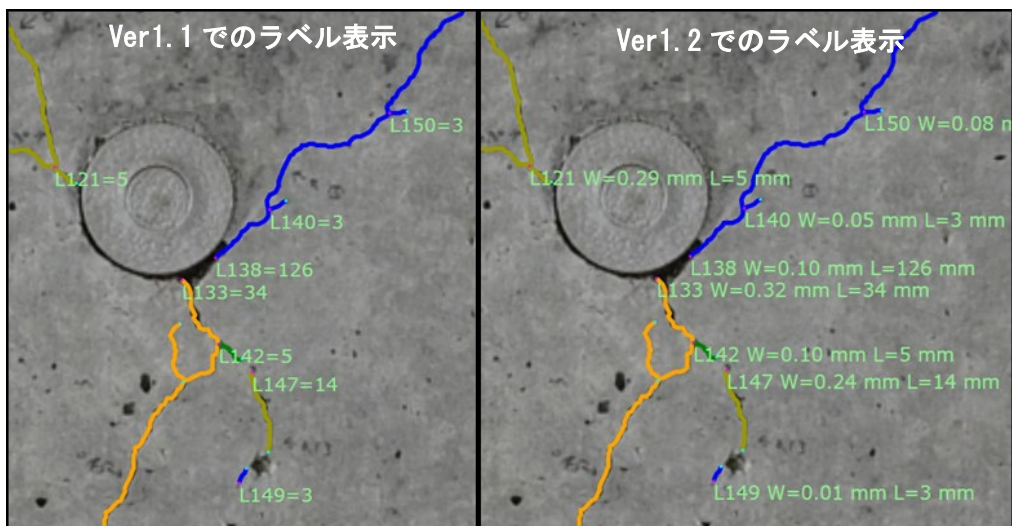


## ■ トレース対象ひびわれ幅の下限しきい値を 0.05mm へ拡張しました

- ◆ 国交省公報資料に基づき、トレース対象ひびわれ幅の下限しきい値を 0.1mm から 0.05mm へ拡張しました。これにより、ひびわれ幅 0.05mm を境に表示/非表示の切り替えが行えるようになります。

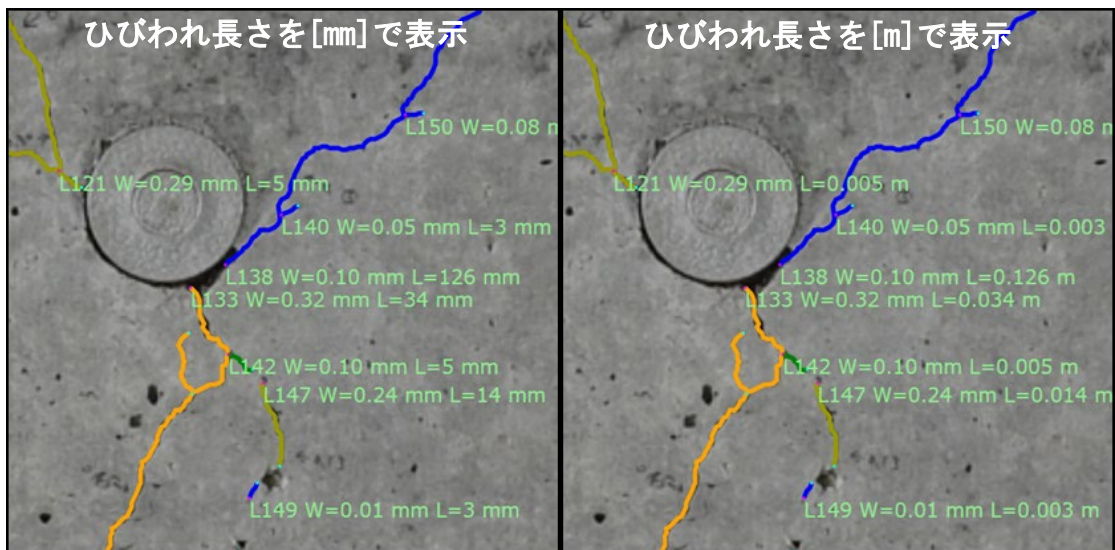
## ■ ひびわれラベルに、ひびわれ幅を追加しました

- ◆ ひびわれラベルに、ひびわれ幅(W) を表示するようにしました。

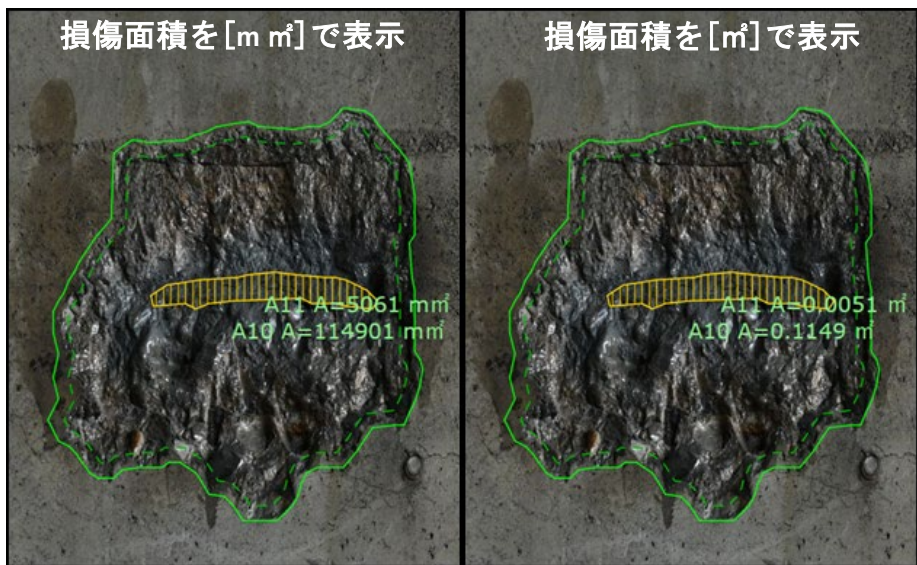


## ■ 損傷ラベルの表示単位を[mm]か[m]から選択できるようにしました

- ◆ ひびわれ長さの表示単位を[mm]か[m]から選択できます。



- ◆ 損傷面積は[ m<sup>2</sup> ] か[m<sup>2</sup>]から選択できます。



それぞれ、損傷トレース図面及び CAD 出力データに反映されます。

## ■ 損傷表示パラメータを保存し、選択して使用できるようにしました

- ◆ 損傷表示パラメータを 10 個まで保存し、選択して使用できるようにしました。  
これにより、報告書の提出先や点検対象別に、ひびわれ幅階級やトレース線色などの表示パラメータを作成し、容易に選択して使用することができます。

## ■ 歪曲補正を適用して画像結合を行えるようにしました

- ◆ 結合対象の撮影画像に、光学レンズの歪曲収差に起因する歪みが強く残っていると、画像結合に失敗することがありました。画像の歪み補正を行いながら画像結合を行えるように機能を追加しましたので、今まで画像結合に失敗していた撮影機材においても、所望の結合結果が得られる可能性があります。

カメラ側で歪み補正を行って撮影した画像に対しては過補正になる場合があるので、必要に応じて使用して下さい。

また、補正しきれず改善できない場合もあります。

## ■ Excel 出力数値の有効桁を見直しました

- ◆ ひびわれ長さは 1[mm]が表現できる桁数、損傷面積は 0.0001[m<sup>2</sup>] (10mm × 10mm に相当)が表現できる桁数を有効桁として表示するように見直しました。

以上